

## 国語科 授業デザイン

日	時：平成 26 年 10 月 24 日（金）第 3 校時（10 時 45 分～11 時 30 分）
学	年： 小学部 5 年
授業場所：	本校 小学部 2 組教室

1. 単元（題材）名 「大造じいさんとガン」
2. 単元（題材）の目標
  - ・自分の思いや考えが伝わるように朗読ができるようにする。
  - ・朗読発表会を行い、感想を交流し合う。
3. 単元（題材）の指導計画

指導計画（全 7 時間） 本時 6 時間目

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第 1 時	全文を通読し，初発の感想を持つ。 「朗読」について知り，学習計画を立てる。	IWB, デジタル教科書
第 2 時	「大造じいさん」の心情を本文から読み取る。	IWB, デジタル教科書
第 3 時	「残雪」に対する「大造じいさん」の気持ちが変わった場面について考える。	IWB, デジタル教科書
第 4 時	情景描写から，「大造じいさん」の心情を想像したり，優れた表現に気をつけて読んだりして，様子を想像する。	IWB, デジタル教科書
第 5 時	好きな場面を選び，朗読で伝えたいこと、自身の考えをまとめる。	IWB, デジタル教科書 TPC, コラボノート
第 6 時 (本時)	朗読の様子を振り返り，よりよい朗読になるように改善する。	IWB, デジタル教科書 TPC, コラボノート
第 7 時	朗読発表会を行い、感想を交流する。	テレビ会議システム

4. 本時の目標
  - 朗読の様子を振り返り，よりよい表現になるように改善する。

### 5. 本時の情報通信技術（ICT）活用

活用する場面	・導入 ・展開 ・まとめ
活用する者〔目的〕	・児童・生徒〔・個別学習 ・協働学習〕 ・指導者 [教材提示]
活用するコンテンツ	デジタル教科書・コラボノート
活用する機器	IWB・TPC 教材提示装置

6. 本時の展開

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導 入	<p><b>一斉学習</b></p> <p>本時のめあてと学習の流れを確認する。</p>	IWB (指導者)	【学習の流れをIWBでわかりやすく提示する。】
展 開	<p><b>個別学習</b></p> <p>朗読で伝えたいことを文章にまとめる。 朗読する箇所を確認し練習する。</p>	TPC コラボノート (児童)	【コラボノートのワークシートも準備し、書字に困りのある児童が書けるようにする。】
	<p><b>協働学習</b></p> <p>グループで朗読の練習を行い、振り返りながら改善する。</p>	TPC (児童)	【TPCのカメラ機能を使って録画することによって自分自身でも振り返れるようにする。】
ま と め	<p><b>一斉学習</b></p> <p>分教室との朗読発表会に向けて、学級で中間発表を行い、よさや改善点を交流する。</p>	IWB 教材提示装置 コラボノート	<p>・朗読で伝えたいことを発表してから朗読するようにする。</p> <p>【教材提示装置でワークシートを拡大し、発表内容を視覚的にとらえやすくする。】</p>

7. 本時の評価 (評価の観点・観点別の評価を含む)

朗読の練習を振り返り、改善することができたか。  
朗読で伝えたいことをまとめて発表できたか。

8. 準備物

IWB・TPC・教材提示装置・デジタル教科書・コラボノート